（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	チャイルドルームぷるーと

公表日　2026年　10月　1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0		曜日によって適切ではないように感じる 柱が不要 利用定員と室内のスペースや座席数の関係に問題は見られない。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	1	3		基準は守れれているが、送迎や個別対応をしてしまうと人員配置が厳しい状況になりやすい。 さらに適切なサービス提供を行うことができるよう人員配置について追加で検討中。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	3	ルールの掲示を行っている	物の配置を固定し、張り紙でルールを示すことで、児童に分かりやすい環境を整えている。一方、柱など構造上のバリアフリー化には課題がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	・活動内容に応じて椅子や机の移動をしている ・生活空間は清潔に保たれている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0		静養室を設けている。他方で、複数児童が使うことを想定していない点が改善が必要だと感じられる。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0	目標の設定と振り返りには支援に関わる職員が参加している。 全職員が対応できるようさらに研修を計画中。	全職員が対応できるようさらに研修を計画中。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	事業所自己評価アンケートを実施する	今回が初めての自己評価アンケートであるため１０月以降より改善する 保護者アンケートの質向上について運営会議中。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	行っていない	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3	児童発達支援管理責任者より研修や教育の場所が行われている	現在依頼先を運営会議にて協議中。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	1		
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	されている	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	アセスメントをものに計画を作成し、職員間で共有を行っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	共有時に、支援に関わる職員から意見を取り入れた形で最終決定としている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	4	0	行われている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	2	HUGを用いて確認している	検査は事業所で行っていない ヴァインランド等のツールは使用していない
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	1	設定されている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1	職員間で活動プログラムの共有している	

援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	1	職員間で活動プログラムの内容を共有し、固定化をさけている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	1	3	児童別に適切な支援を行うために作成されている。 集団活動のみで各課題を解決できるよう立案している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1	支援前には昼礼を行い、当日の支援内容や最終決定をしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	3	1	終礼にて、当日の出来事や気づきを共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	1	支援当日に支援記録を作成し、保護者へ送信している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	1	モニタリングをもとに支援内容の継続、見直しを検討している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	3	1	複数組み合わせた支援を計画し、実行している。 他方で日常的に地域交流の活動を行うことには難しさがあるため、長期休みなどを利用して行うことを検討している。	地域交流を実施していない
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	1	児童が自身の考えを発信できるように職員の声掛けによる問いかけや提案ンを用いて発言を促している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	1	3		事案無し この一年内で開催していない
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	2		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	1		再度徹底していく 保護者様からはいただいている
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	3		当事業所で伝えても相手からはなし
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	2		まだ対象者なし 当該学年の児童不在のため
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	0	4		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	1	夏休み期間に行った 夏休み期間中に地域の児童館に行った 併設学童の職員と交流する機会や、季節イベントに参加する機械が設けられている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	3		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	支援記録にコメントをつけ、毎日保護者様へ送信している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	契約前に周知している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	体験会や、アセスメントシート作成を通して、保護者の意志や希望を確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	4	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	必要に応じて支援できる体制がある。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	4	法人全体のイベントへの参加を促すことで対応している。（保育園、幼稚園、学童、学習塾）	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	出来事は即日、職員間で共有し、迅速に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	インスタグラムやWebページによる情報発信を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	事務所の鍵付きキャビネット内に保管している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	児童にはわかりやすい言葉で伝えることで、意思疎通を図りながら支援し、保護者に記録を送信する際にはマイナス表現を裂避け、言い換えて伝えている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	1	希望者を募り療育体験会を実施した	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	マニュアル策定済み	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	月に一度、災害を想定した避難訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	確認し、会議や昼礼で職員に共有する。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1	アレルギー対応がされている。偏食の対応に関しても医師の書類を要する方針。	保護者からの共有のみ
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	車内環境を整え、安全管理に配慮している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	4	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	発生したヒヤリハットは即共有し、再発防止策を検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	職員への研修や教育の場を設けている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	1	3		該当者なし 該当するものが現在は入会していないため個別支援計画書に記載していない。